

## 研究概要

### 1. 研究名称 または課題名テーマ等

A successful case of switching treatment from ketamine to methadone for complex neuropathic pain without decreasing activities of daily living (ADL)

(日常生活の活動(ADL)を減少させることなく、難治性がん疼痛におけるケタミンからメサドンへの変更の有用性についての検討)

### 2. 研究責任者(当院)

所属：緩和医療科

氏名：村上 敏史

#### 共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：東京慈恵会医科大学 医学部 疼痛制御研究講座

代表名：上園 保仁

機関名：東京薬科大学薬学部 薬学実務実習教育センター

代表名：国分 秀也

### 3. 分担研究者

所属：緩和医療科 氏名：久保田 亨

所属：放射線治療科 氏名：川上 浩幸

### 4. 研究対象者

2017年7月24日～2019年4月7日の間に、聖隷佐倉市民病院において直腸癌、肺転移、骨転移によるがん疼痛に対してオピオイド鎮痛薬、ケタミンによる疼痛治療を受けた方

### 5. 研究の必要性

メサドンは専門的緩和ケア施設においてがん疼痛に対して使用される薬剤である。難治性がん疼痛に対してモルヒネに代表されるオピオイド鎮痛薬から変更することで導入されるが、ケタミンからの変更については十分な根拠となる質の高い研究は存在しない。

難治性がん疼痛におけるケタミンからメサドンへの変更の有用性についての検討を行うことは必要と考えられる。

### 6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

本研究は後ろ向き調査であり、診断および治療に関する介入を行わない。従って患者が本試験に参加することで生じる個人への影響はない。

がんによる難治性疼痛を有する患者におけるケタミンからメサドンへの変更の有用性を検討することで、難治性がん疼痛に対するメサドンへの変更についての提言が可能となる

### 7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151 (代表)

担当者氏名：村上 敏史

対応時間：平日 09:00-17:00